

賛美音 sanbion プロフィール

フルート・ピアノ・パーカッションの編成のトリオ。3人のベースとなっているアコースティックなクラシックの響きに、ジャズの即興性・柔軟性を融合した新しいスタイルをもつ。

「Heartstrings=心の琴線」に触れる音楽を信条とし、ライブホールでの公演や学校芸術鑑賞会、更にはバリアフリーのコンサートなど数多く行う。

レパートリーには唱歌や民謡を現代風にアレンジしたものやオリジナル曲があり好評を得ている。また、公演によっては打楽器を使った参加型のプログラムなど、自在に形を変えるのも魅力の1つである。

■フルート／渡辺奈津美(わたなべ なつみ)

千葉県出身。千葉県立幕張総合高校を経て、東京音楽大学音楽学部音楽学科フルート専攻を卒業。同大学大学院科目等履修を修了。

2013年伊勢神宮との縁で生まれた作品「忘れていたら思い出してね」のCD録音、2014年伊勢神宮にて奉納演奏を行う。2015年2016年わんダフルネイチャーヴィレッジ((株)東京サマーランド)オリジナルCD録音。現在はソロ、アンサンブルにてさまざまな演奏活動を行う他、生演奏を多くの方に届けるための音楽コーディネートを手がけている。目白(株)フルートパーク タニテックにて講師。

■ピアノ／牧田清美(まきた きよみ)

国立音楽大学器楽学科・洗足音楽大学ジャズコース、共にピアノ専攻卒業。

クラシックを故・岡田隆郎、ジャズピアノを今泉正明、トム・ピアソン、ユキ・アリマサ各氏に師事。ヤマハ講師、カルチャーセンター講師、キーボードステージプレーヤー等を務め、1998年埼玉県文化振興課アーティストボランティアバンクに登録。長年の障がい者施設での演奏経験から2009年有志団体トライフルを立ち上げ、音楽を通じてノーマライゼーションを目指す。2010年から始まったトライフルコンサートは、第6回を重ね好評を博している。オリジナルアルバム「Precious～かけがえのないもの～」リリース。また最近では、日本の歌を独自の世界感で表現し、世界に発信していきたいという夢を持って活動中。心に届くメッセージピアノを信条とする。

■パーカッション／荻原松美(おぎはら まつみ)

長野県出身。国立音楽大学卒業。大学在学中に「シエナ・ウインド・オーケストラ」のオーディションに合格し入団。現在、同楽団のティンパニ及び打楽器奏者。上野信一&パーカッショングループ“PHONIX”のメンバー。演奏の他、打楽器アンサンブルのワークショップ、知的障害者と健常者の垣根を越えたドラムサークル等、参加型のワークショップを行っている。

長野県小諸高等学校非常勤講師。

尚美ミュージックカレッジ専門学校非常勤講師。

イノベイティブ・パーカッション、エバンス、CANOPOS CONCERT SERIESのエンドーサー。